



カリオン

Vol. 19



2013年3月

発行 姫路赤十字看護専門学校
発行責任者 学校長 湯浅志郎
編集責任者 事務部長 舟曳健次
〒670-0063 姫路市下手野1-12-2
TEL/FAX 079(299)0052(直通)

近衛社長と記念撮影



平成25年1月16日(水)日本赤十字社、近衛忠輝社長が姫路赤十字病院を視察されました。近衛社長は、国際赤十字・赤新月社連盟の会長も務めておられます。

3年生は、救護看護婦像の前で社長と一緒に写真を撮りました。社長は、看護師国家試験前の学生に「もうすぐ試験ですね。頑張って下さい。」と声をかけられました。学生は、「緊張した」「本社の社長に会えて嬉しかった」「社長を身近に感じた」と感想を話していました。

その後、近衛社長は次の視察場所へと当院を後にされました。学生達は、姿が見えなくなるまで見送っていました。

(副校长:柳めぐみ)

行事予定 (平成25年3月~5月)

3月 6日(水) 卒業を祝う会・講演(福島文二郎氏)
20日(水)~4月3日春季休業

8日(金) 卒業式
25日(月) 第102回看護師国家試験合格発表

4月 2日(火) 入学前オリエンテーション
9日(火) 入学式
24日(水)~26日(金) クラスI基礎看護学実習I-1

4日(木) 新学期開始
12日(金) 新入生歓迎会
29日(月)~5月6日保健週間

5月 10日(金) ナイチンゲール祭
14日(火) クラスI兵庫県支部訪問

11日(土) 病院フェスタ
29日(水)~31日(金) クラスI基礎看護学実習I-2

姫路赤十字看護専門学校教育理念

本校は、赤十字の基本理念「人道」を看護実践で具現化する看護師を育成することを使命とする。看護は人間の健康生活にかかわるケアリングである。本校では、対象者と学生、ならびに学生と教員間のケアリングを目指してリフレクションを教育の基調とする。

【教育目標】

- 1)人道(ヒューマニティ)を基盤とする赤十字の思想に基づき、人間の生命と健康を守り、苦痛を予防・軽減し、尊厳を確保できる豊かな人間性を養う。
- 2)人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として、幅広く理解する能力を養う。
- 3)人々の健康と生活を、自然・社会・文化的環境とダイナミックな相互作用等の観点から理解する能力を養う。

- 4)赤十字の基本原則を基盤とする看護専門職業人としての職業倫理観をもち、看護を実践できるとともに、最新知識・技術を自ら学び続ける基礎的能力を養う。
- 5)人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
- 6)健康的の保持増進、疾病予防と治療、リハビリテーション、終末期など、健康や障害の状態に応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。
- 7)看護の実践は「安全」で「安楽」を第一義とし、医療事故を未然に防止できる能力を養う。
- 8)保健・医療・福祉制度と他職種の役割を理解し、チーム医療を実践するとともに、人々が社会的資源を活用できるよう、それらを調整するための基礎的能力を養う。
- 9)赤十字の諸活動に興味関心を持ち、将来、赤十字の理念のもとに活動する看護師として国内外で活躍できる基礎的能力を養う。

2009年4月 改訂

初めは看護観というものが漠然としていましたが、実習を重ねたくさんの方と一緒に会っていく中で少しづつ自分たちが大切にしているもの・自分の思う看護が見えてきました。

看護は、患者さんがいてこそできるもの。患者さんを第一に考え、患者さんの気持ちに気付き、患者さんに今何が一番必要なのかを考えること。援助を考える上で自分と向き合う事は必要不可欠。看護していく事は患者さんに對しての感謝の気持ちが本当に大きいということ。「人道」＝「人を思う気持ち」、「看護」＝「人道を具現化する手段」など、それぞれ自分の思う看護観を自分の言葉で表せるようになりました。3年間の学びを大切にしてこれからも自分の看護観を深めていきたいです。

国家試験を終えて 後輩達へ伝えたいこと

Q 国試にむけての勉強方法は？

- ・国試の過去問を何回も解く！
- ・苦手なところをメモ帳にまとめていつでも見ることが出来るようにする
- ・1つの問題から知識を広げていく
- ・友達と一緒に勉強する、問題を出し合う
- ・大切なポイントを紙に書いて部屋やトイレの壁に貼る
- ・模試の見直しをする
- ・休憩時間にブチナースを読む
- ・学校や図書館で勉強する
- ・日常生活とつなげる

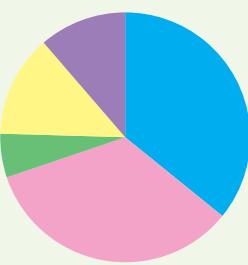
Q 国試の過去5年の問題集何回解いた？

2～4回解き直した人が多いです。一般問題や状況設定問題に比べて必修問題は5回解き直すなど、必修問題に特に力を入れている人が多かったです。

Q 1日どのくらい勉強した？

実習中は国試対策の勉強をする時間が十分に作れませんでしたが、国試対策が本格的に始まるとき、3～5時間勉強していた人が多かったです。休日や国試直前にになると7～10時間勉強していました。勉強以外の時間も参考書やブチナースを読んだりと常に看護と向き合っていました。

Q どんな参考書使ってた？



- レビュー
- 東京アカデミー オープンセサミ
- ブチナース
- 病気がみえる
- 教科書
(解剖生理など)



参考書の他に、特別講義で使ったプリントなどを活用している人も多かったです。

112回生からのメッセージ

大好き！ 絶対に、集まりたいと思います！ フィールド、ナースコス、音楽セラピーなどいろいろあります！

実習はつらいこともあります。全然今はつらがら頑張って、不安なのはかわり一緒に

とにかく頑張って下さい！ 日々の講義をみて国試に備えよう！ 実習で経験したこと下記に

やればほんとうによく、やうなけんばうありますよ…

実習の 先づ強くなれる！ 地域につながる！ 患者さんとの関わりを大切にして下さい。

お気に入りの参考書を作った友達と高めかいながら勉強するのが一番よかったです。

仲間を信じて頑張って下さい。



領域別実習スタート!!

2月18日から私たち2年生は領域別実習2クール目が始まりました。今回私たちは6グループに分かれて実習に励んでいます。グループごとに実習の意気込みや目標を考え、それを胸に刻み、実習を行っています。

5 東：整形外科



「日進月歩」

6 東：外科



「主体的に学び、目標を持って行動する」

精神



「患者さんに関心を持って関わり、コミュニケーションの技術を学ぶ!」

4 西：産科



「みんなで助け合って頑張ります!」

8 西：小児科

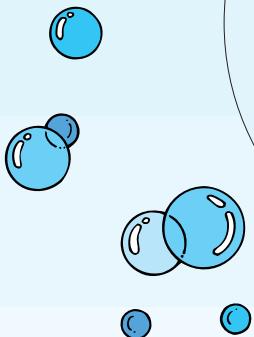


「メンバー全員で情報共有を行い、積極的に行動できるよう協力しあって、小児特有の疾患や援助、技術を学んでいます。」

7 西：泌尿器科



「実習10クール終わったら絶対成長してるはず!
全力でがんばる!」



114回生基礎看護学実習Ⅱ

～実習の学び～

1月25日～2月13日に姫路赤十字病院で基礎看護学実習Ⅱを行いました。初めて患者さんを受け持たせて頂き、その患者さんへの理解を深め、自分たちにどのような援助が出来るのかを考えました。各病棟で学んだことをまとめました。

7 東 内科・循環器科

私たちは2人で1人の患者さんを担当させて頂きました。毎日のカンファレンスでそれぞれの患者さんの事を話し、患者さんの日々の変化や実習の学びをグループのメンバーで共有しました。患者さんに上手く伝えられなかったり、患者さんの状態が思わしくなったり、悩むことも沢山ありましたが、メンバー皆で支えあい、乗り越えることが出来ました。

5 西 脳神経外科・耳鼻咽喉科・口腔外科

5階西病棟は脳に疾患がある患者さんが多く、症状に麻痺があり転倒・転落のリスクが高いので安全・安楽を一番に考え、援助を行いました。例えば、車椅子に乗車する際は安全ベルトを必ず装着したり、患者さんの傍を離れる際は健側にナースコールを置くことを徹底したり、「マッタくん」を敷くなどです。また、脳の疾患には重い後遺症が残ることが多く、患者さんだけではなく家族の精神的なケアもとても重要だと感じました。

8 東 内科

今回の実習ではケアを行うことだけが看護ではないということを実感しました。実習が始まり、他の病棟では何らかのケアを行っている人が多く、私たちは何も出来てないのではないかと思っていました。しかし、患者さんの話や思いを聞くことで精神的な負担を軽減することが出来たり、患者さんの容態を観察し異常の有無を確認したりと、知識も経験も浅い私たちでも行えることがあるのだということを学びました。今回の実習での経験を今後に生かせるようにこれからも勉学に励みたいです。



6 東 外科

本格的な初めての実習ということもあり、実習前は不安でいっぱいでした。外科病棟ということで患者さんの術後の経過が早く、援助計画を立てるのに戸惑うことも多くありました。しかし、学生6人で話し合いながら進めていくことができたと思います。看護師さんからも臨床でしか学べないことをたくさん教えていただき、患者さんとの信頼関係の大切さを学ぶことができました。感謝の気持ちを忘れず、次からの実習に活かしていきたいです。

7 西 泌尿器科・内科・眼科

今回初めて患者さんを受け持たせていただき、常に変化する患者さんの状態に対して今、その患者さんに必要な援助を考える難しさを実感しました。学内での演習の時とは違い、戸惑いを感じることばかりでしたが、悩みながら看護師さんや先生、実習のメンバーと相談して、その患者さんに今どのような援助がなぜ必要か考えることのできた実習だったと思います。患者さんへの感謝の気持ちを忘れずに、実習で学んだことをこれからの実習に結び付けていきたいです。

5 東 整形外科・リハビリステーション科

患者さんにとって安全で安楽な看護を行うためには、リスクについて考え、リスクを回避する行動することが必要だと思いました。また、援助中には表情や声かけに気を配り患者さんが自然体でいられるようにすることが大切だと感じました。今まででは、清潔ケアなどの援助を行うことが看護なのではないかと思っていたましたが、患者さんの傍にいて声をかけるだけでも一つの援助になるということを学びました。

4 東 婦人科・内科

ここに入院される患者さんは女性ばかりで、子宮癌や高齢出産などでリスクの高い妊婦さん、内科では皮膚筋炎など様々な疾患を持つ患者さんがいます。この病棟で実習して学んだことは、子宮癌の手術で女性の大切な子宮や卵巣を取り除くことは、その患者さんにとって周りに話したくない事実であることです。また、患者さんにとってキーパーソンがいてくれることは緊張を和らげるのに大切であることを学びました。

奉仕団活動

院内図書班

毎週水曜日と木曜日に病棟を訪問し、患者さんに気分転換して入院生活を楽しんでいただく事を目的に、本の貸し出しを行っています。

患者さんが鬱病されている環境を知る機会になり、コミュニケーションを通して交流をはかる事もできます。

(院内図書班班長)



(写真掲載の許可を得ています)

施設訪問班



施設訪問班は毎月第2・4土曜日に活動しています。大塩駅の近くにある「しおさきヴィラ」という施設を訪問させていただき、利用者の方々にお茶とおやつを配り、喫茶店のような雰囲気を味わって頂きます。私たち学生も、利用者の方々との交流を通して楽しい時間を過ごさせて頂いています。

(施設訪問班班長)

献血班



献血班は、毎月第1・2土曜日、日曜日に姫路駅前みゆき通りで、献血の呼びかけ活動をしています。また、夏にはひまわりキャンペーン、冬にはクリスマスキャンペーンを行っています。私たちの活動によって献血に協力してくださる方も多くいてとてもやりがいのある活動です。

(献血班班長)

小児病棟訪問班

小児病棟訪問班は、季節に合ったテーマを考え、子どもたちへプレゼントをしたり、催し物をしたりしています。子どもたちに喜んでもらえるように、心を込めて計画しています。子どもたちの笑顔を見るのが私たちのやりがいです。

(小児病棟訪問班班長)



講 師 紹 介

日赤の卒業生（看護・助産）のよしみで母性看護学（マタニティサイクルにある人々の看護-3）を担当させていただき感激です。

今の私があるのは看護の基本を教えてもらった日赤での15年間だと思っています。其の私が母性看護について語ると熱くなり、この職業が大好きです。授業は学生の皆さんのがんばる姿勢に刺激されてとても楽しいです。どうぞご自分の目指す職業に誇りと自信を持って学習を深めてください。

（神戸常盤大学短期大学部講師：小坂 素子）



在宅看護論を担当させていただいている。在宅看護は生活の場である地域で展開される看護の専門分野です。

在宅看護の対象者やそれを支えるチームや地域の資源について学ぶ中で、QOLの維持・向上に向けてケアマネジャーと訪問看護師としての役割を学習します。身体状況のアセスメントと看護は勿論、本人や家族の思いに寄り添える看護師になれるよう成長していただきたいと思います。

（姫路赤十字居宅介護支援事業所管理者：田口 かよ子）

（姫路赤十字訪問看護ステーション管理者：黒石 美和）

治療論-2（クラスⅡ）の放射線部門を担当させていただいている放射線技術部です。近年、放射線治療・検査は日々進化し、多種にわたって複雑化しています。放射線治療・CT・MRIなど専任の放射線技師が講義と見学実習を受け持たせていただいている。略語や難しい名前の検査等が多いですが放射線検査等に興味を持って理解していただき、将来実践の場で役立つことを願っています。

（放射線技術部技師長：中島 敏博）



防火防災訓練

昨年末の12月21日、姫路赤十字看護専門学校の防火防災訓練を実施しました。

今回初めて、隣接する姫路血液センター、保育所との合同訓練を学校の防災係が計画しました。震度6弱の地震発生に伴い、学校内で火災が発生した想定で、副校长の指揮のもと、安否確認、初期消火、避難誘導、物品持ち出しなど本番さながらの緊迫した空気の中で行われました。学生は自分自身の安全の確保だけでなく、保育所の子供たちの命をも守るという強い使命感をもって、日ごろのボランティア活動で培った子供への対応を駆使して奮闘しました。

（専任教師：名村 かよみ）



第25回院内学術研究発表会

平成25年1月31日（金）

「学校関係者評価の取り組み～保護者会を開催して～」



学校関係者評価とは、学校における教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取組である「学校評価」のなかの1つの評価方法で、平成24年度から学生保護者の参加が必須となりました。

そこで、学校関係者評価に参加していただく保護者の方々に学校への理解と協力を深める機会となるよう「保護者会」を設立・開催しました。

今回の研究発表会では、第1回保護者会の内容やアンケート結果の伝達と今後の課題について発表しました。発表後、病院職員から「『病院機能評価』のように学校評価をしているという事を始めて知った」という感想がありました。

本校ではホームページやカリオンなどを活用しながら学生生活や教育活動などの情報を発信しています。今後も保護者の方を始め、関係施設や地域の方々の理解と協力を得ながら学生の「共育」に携わっていきたいと思います。

（専任教師：藤田 美佐子）

姫路赤十字看護専門学校同窓会

皆様、こんにちは。私は、姫路赤十字看護専門学校同窓会の会長をさせて頂いています78回生の三木幸代と申します。この度から「カリオン」に同窓会活動や同窓生の活躍の様子について紹介させて頂くことになりました。宜しくお願ひいたします。

現在、同窓会の会員数は、平成25年3月に卒業しました112回生36名が加わり2740名となりました。その内327名が院内で、そして北は北海道、南は沖縄と全国各地で活躍しています。



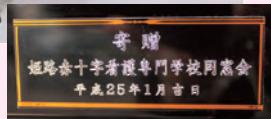
当同窓会は、2年に1度の同窓会総会を開催し、色々な議案を審議し、活動を行っています。合わせて、その年のトピックスをテーマに講演会をしたり、国際救援や国内の災害救護活動の参加者による報告会をしたりしています。

今年の1月26日(土)に日本赤十字社兵庫県支部の藤原事務局長さまをはじめ6名の来賓の方々と名誉会員であられます高橋令子さまにご臨席を賜り、第30回の同窓会総会を開催したところです。この度、母院である姫路赤十字病院が病院の機能充実を目的に増改築の運びとなり、新管理棟の大会議室のお披露目を兼ねて開催致しました。大変寒さの厳しい時期ではありましたがお天気に恵まれ、同窓生160名の参加を得て盛大に開催することができました。会長挨拶に続き、兵庫県支部事務局長藤原雅人様と姫路赤十字病院院長湯浅志郎様よりご祝辞を賜りました。一昨年の東日本大震災の救護活動報告を救護班・心のケア班・石巻赤十字病院支援・石巻赤十字看護専門学校支援に分かれて4名の同窓生が行いました。また、総会において姫路赤十字病院新管理棟竣工のお祝いに同窓会からピアノを贈ることが審議され、全員一致で承認されました。

総会後のお食事会では、学生時代に返ったように懐かしい会話に花を咲かせ、とても楽しい会となりました。また、お食事の後、看護学校の方にも足を延ばされ、遺芳の間や教室・実習室の見学をし、懐かしい教材に触れて頂きました。皆さまお元気ではつらつとされていて何よりの喜びでございました。そして、2年後の再会を祈念して閉会となりました。



寄贈されたピアノ



総会の様子



管理棟会議室での食事会



看護専門学校
「遺芳の間」を見学

歴史シリーズ



「鐘」

本校でも平成5年までは全寮制で寄宿舎がありました。寄宿舎での生活も含めて教育であり、一日の生活は鐘の合図で始まりました。起床、掃除、朝食、日中は学校、夜は自習時間の後に自室前の廊下に整列して点呼、消灯という日課でした。

(副校长長：柳 めぐみ)

災害拠点病院研修

平成25年2月23日(土)日本赤十字社兵庫県支部、兵庫県下赤十字施設、下手野自治会の協力のもと、災害拠点病院研修が行われました。

震度6弱の大規模地震発生に伴って、姫路赤十字病院内における防災初動訓練に引き続き災害拠点病院研修があり、本校からは、専任教師1名がスタッフとして、副校长長、教務主任は院内の委員会役員として参加しました。またボランティアとして、21名の看護学生が参加しました。3年生は患者搬送や入院対応、1・2年生は患者役や炊き出し訓練に参加しました。参加した学生は、目の前で繰り広げられる本番さながらの救護活動に、改めて赤十字の一員であることの誇りと自覚を高める機会となりました。

(専任教師：名村 かよみ)



花台寄贈 111回生卒業記念



111回生の卒業記念として、大会議室の花台を寄贈していただきました。今まででは会場が狭くて式典に学生全員が参加できませんでした。管理棟が新築され、今後式典は大会議室で挙行されます。花台は、式典などで活用させていただきます。ありがとうございました。

贈
第111回生卒業記念
姫路赤十字看護専門学校
平成24年3月9日



季節の花々



「蕗の薹」

春の訪れを待ち望んでいるかのように、学校の中庭に蕗の薹が顔を出した。

昔、雪は無色だった。雪の精は、花に色を分けて欲しいと頼んだが断られた。見かねた蕗の薹は自身の花の色を雪にわけた。それから雪は白色になった。それ以来、雪は蕗の薹だけには遠慮して降るようになったと言われている。

(専任教師：藤元 由起子)



新任教師紹介



1月から看護学校に配属になりました中林朝香です。今までには、がん看護を中心に患者さんのこころに寄り添える看護をめざして看護師をしていました。これからは教員として少しでも学生に寄り添える教員をめざして、学生の皆さんと一緒に学んでいきたいと思います。よろしくお願いします。

(専任教師：中林 朝香)

姫路赤十字病院病院フェスタ in 2013 ご案内

日 時：平成25年5月11日（土）9:30～14:30
テーマ：「地域とともに未来へクロス」
看護学校も開放します。お誘いあわせの上ご参加ください。

編集後記

竹は温暖なところでは節と節の間がのんびりと伸びてしまうので強風や雪にあうと折れやすい。しかし風雪に耐える竹は節と節の間が狭くがっしりと育ってたくましいという。

竹は節があるからこそ風雪に耐えることができ、逆境であるからこそ強くなるのでしょうか。

一社会人として、看護師として一歩を踏み出そうとしている卒業生の皆様、そして後に続く在校生の皆様、これから出会うであろう多少の困難はしなやかに受け止め、折れずに跳ね返す柔軟性を持ってください。

あたりまえのことがあたりまえにできる人であって下さい。

(専任教師：名村 かよみ)

